

石木ダム「計画がずさん」

川棚検証集会で批判相次ぐ

3.26

川棚町で建設が進む石木ダムの必要性を検証する集会「清流をまもる 未来をまもる」

が23日、同町公会堂であった。ダムの専門家や国会議員らの講演に250人が耳を傾けた。県民有志でつくる実行委員会主催。

長くダム建設に携わった元近畿地方整備局河川部長の宮本博司氏は石木ダムについて、流域平均雨量の算定が川棚川流域ではなく佐世保市の雨量を使っている▽ダムと下流の橋の洪水流量ピークが同時刻になっている――

など計画の疑問点を指摘。「雨量、流量の検証がされていない。治水計画がずさん過ぎる」と批判した。

野田国義参院議員（福岡選挙区）は「政治とカネの問題の元凶は公共事業にある。無駄な公共事業の利権をただしていかなければならない」と訴えた。



専門家や国会議員らが石木ダムを検証した集会
＝川棚町中組郷で

最後は「未来を見据え、不要な事業は中止して教育や子育てに予算を増やす」とする集会宣言を採択した。

【綿貫洋】